



## 年頭のごあいさつ

会長 加藤 宣明

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

この地域の景気は緩やかに回復し、雇用情勢も着実に改善している中、今年もこの景況感が続くことが期待されるところです。一方で、企業活動においては人手不足状態が続いており、有為な人材を確保し、育成していくことが企業における大きな課題と言えます。その意味でも、働く人たちの職業能力の開発、向上を担う当協会の役割はますます高まっています。

今年は当協会が設立され40周年を迎える節目の年でもあります。今後とも皆様のご期待に沿えるよう諸事業を推進し、その使命を果たすよう努めてまいります。

さて、昨年11月に沖縄県で開催された第56回技能五輪全国大会では、14年連続で「最優秀技能選手団賞」を受賞するとともに、若年選手の活躍に対して設けられた「未来への挑戦賞」も受賞することができました。明日の愛知のものづくりを担う若き技能者の奮闘ぶりに感動し、その活躍を大変心強く思いました。

そして、いよいよ今年11月には、来年と合わせて2年連続となる「技能五輪全国大会」と「全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）」が「その技に誇りと感動 あいちから」をスローガンに、愛知県で開催されます。当協会では、両大会の成功に向け、さらに開催機運を盛り上げるよう取り組んでまいります。

加えて、オールジャパン体制で日本・愛知への招致活動を進めている「2023年技能五輪国際大会」の開催地が8月に決定されます。この招致活動が実を結び、開催地の栄誉を勝ち取ることを願ってやみません。

これらの大会の開催は、若年技能者の技能のさらなる飛躍への追い風となることが期待され、ここ愛知県から技能の重要性、必要性を広く社会にアピールし、技能尊重機運を高める絶好の機会です。

当協会としましては、基幹事業である技能検定試験の適正な実施、監督者訓練を始めとした企業の人材育成の取組への支援、若年技能者への技能伝承や次代の愛知を担う子どもたちのものづくりへの興味を高める取組などをこれまで以上に積極的に進めてまいります。

皆様には引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、関係者の皆様のさらなるご活躍、ご発展を心より祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成31年元旦